

教育最前線

連載 19

鹿児島総合警備保障(株)・交通安全教室

防犯と交通安全を組み合わせた教育により 自分の命を自分で守る力を身につけてもらう

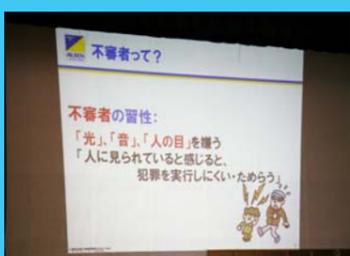
「交通安全教室」の内容

1 通学路の危険箇所

交通マナーアップ指導員の梶原義友さんが高校周辺にある信号機のない交差点の安全な通行方法などを解説。



2 防犯講話



鹿児島総合警備保障(株)の生野忠貴さんが不審者は「光」「音」や「人の目」を嫌うという習性を説明。遠回りでも人通りのある明るい道を通行すること、防犯ブザーを携帯すること、歩きながら携帯電話や音楽プレーヤーを使用していると不審者に気づきにくくなるので控えることなどをアドバイスした。

3 安全運転指導

座学では原付、自転車それぞれの事故の特徴、加害事故を起こしてしまった場合の賠償責任などについてHondaのインストラクターが解説。



その後、Hondaのインストラクターによる危険予測トレーニングが行われた。ライディングトレーナーとHonda自転車シミュレーター(写真右)を、生徒の代表者に体験してもらい、その運転状況が大型スクリーンに映し出される。体験が終わると、その過程を再生し、事故に遭った場面ではどのような危険予測が必要だったかを、生徒たちに考えてもらう。



原付通学者には屋外で原付の日常点検、ヘルメットの正しい着用の仕方も伝えた。

※1 ライディングトレーナー＝ライダーの危険予測能力を高めることを目的に、Hondaが開発した二輪車安全運転教育機器。運転操作に応じた走行映像がモニターに映し出され、二輪車の疑似走行体験を可能としている。
※2 Honda自転車シミュレーター＝自転車利用者のマナーや危険予測能力を高めることを目的に、Hondaが開発した体験型教育機器。詳細は以下のホームページを参照。
<http://www.honda.co.jp/simulator/bicycle/>

7月2日、鹿児島県にある鹿屋市立鹿屋女子高等学校において、鹿児島総合警備保障(株)(鹿児島市)が主催する交通安全教室が開催された。鹿児島総合警備保障(株)は、鹿児島県教育委員会から「中・高校生交通安全教室」を開催された。



交通安全教室には鹿屋女子高校の生徒約600名が参加

運動に関する具体的な指導のニーズがありました。そこで、高校生への安全運転教育に実績のある本田技研工業(株)安全運転普及本部熊本普及プロツクのインストラクターの方々に協力をお願いしました」と生野さんは話す。

「マナーアップ委託事業」を委託されており、同社では中・高校生の登下校時の交通安全指導や通学路の危険箇所点検を担う交通マナーアップ指導員を採用・養成している。今回の交通安全教室は、鹿屋女子高校の要請を受けて、同校を担当する交通マナーアップ指導員の梶原義友さんと、鹿児島総合警備保障(株)特別業務事業部特務・教育チーム主任の生野忠貴さんが企画。

ポイント① 通学路の危険箇所を伝える

まず梶原さんが「皆さんが安全に学校に来て、安全に家に帰っていただくことが私たちの願いです」と、通学路の危険箇所を説明。日頃、通学路で指導をしている立場から見ると、注意してほしい交差点などをあげながら、生徒たちに安全に通行するためのアドバイスをを行った。



鹿児島総合警備保障(株)交通安全マナーアップ指導員の梶原義友さん

ポイント② 生徒の防犯意識を高める

次に生野さんによる防犯講話。最近、鹿児島県内で発生した事件の話をお話しながら、不審者の定義と習性や犯罪に遭わないための対応策を伝えた。「最近は一見、不審者と見えない人が突然犯行におよぶケースが増えて



鹿児島総合警備保障(株)特別業務事業部特務・教育チーム主任の生野忠貴さん

いることも知っておいてください」と生野さんは注意を促す。

ポイント③ シミュレーターによる参加体験型の教育

原付と自転車の安全運転指導については、ホンダのインストラクターが担当。原付通学者と自転車通学者(徒歩・バス通学者も含む)に分かれて進められた。原付通学者にはライディングトレーナー(写真左参照)、自転車通学者にはホンダ自転車シミュレーターを活用。



ライディングトレーナーを活用した危険予測トレーニング

鹿屋女子高校で交通安全を担当する永田忠士教諭は「こうした内容の交通安全教室は初めてです。シミュレーターによる教育は、体験を通じて危険予測のポイントが学べるので効果的だと思います」と感想を語る。

ルールを守る意識が 事故や犯罪から身を守る

「ルールやマナーを無視した不安定な学校生活を送っていると、犯罪や事故に巻き込まれやすくなります。生徒の皆さんに防犯や交通安全に関する良い習慣を身につけることが自分の命を自分で守ることにつながるということを伝えていきたい」と生野さん。

鹿児島総合警備保障(株)が防犯と交通安全を組み合わせた教育を実施するのは初めての試みだという。

「今後、県内に展開していく上での大きな一歩です。ホンダから安全運転教育のノウハウを提供していただき、生徒の皆さんにより実践的な指導ができました」と生野さんは成果を語った。



読者の声

ご愛読者のみなさまへ
SJに対するご意見・ご感想をお寄せください！
SJ編集部では今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。みなさまのご意見・ご感想・ご要望を下記メールアドレスにてお待ちしております。
sj-mail@spirit.honda.co.jp

● 浦谷町(宮城県遠田郡)
交通安全専任指導員
大平 由香さん

私たち浦谷町の指導員は、各幼稚園・保育園に対し年5・6回交通安全指導を行います。通常は、紙芝居や人形劇などを交えた交通ルール等の指導ですが、年長児向けには小学校までの登校訓練を実施したり、年1回は地域の教習所にご協力いただき教習所構内の交通安全指導を行っています。また、高齢者向けには、各行政区別に年1・2回程度、交通安全の寸劇などを交えた交通安全教室を実施しています。

こうした指導の際の内容がマンネリ化しないよう、自主的に県内の指導員同士で集まり、研修会を実施するなど情報交換に取り組んでいます。また、他県での指導内容を学ぶために、SJ紙を活用しています。浦谷町では4月から高齢ドライバーに対し、県内全教習所での認定教育に一律2500円の助成金を出す取り組みを始め、高齢ドライバー教育を推進しています。今後も、こうした取り組みを含めて、広く町民の方の交通安全に力を入れていきたいです。